舞鶴引揚記念館に収蔵する 約1300点 の中から
シベリア抑留を伝える「回想記録画」の展示をおこないます。

シベリア抑留は厳しい寒さ、重労働、極度の食料不足などが一般的に知られています。
しかし、約60万人の体験者の抑留の捉え方はそれぞれ違うことはあまり知られていません。
今回の企画展では、それぞれの体験者が抑留をどのように捉えたか知る手がかりとなる
回想記録画の展示をおこないます。

新伊呂波加留多
上津原 美夫 (1986年)
全体85×60 (cm)
各かるた14×11 (cm)

表面絵画
ラーゲルの権力者たち
小林 英夫 (1995年)
104×73 (cm)

ラーゲルの夕餉
鈴木 銀造 (製作年不詳)
71×83 (cm)

点呼収容所全景
吉田 勇 (製作年不詳)
73×91 (cm)

休 館 日：毎週水曜日(祝日の場合、その翌平日)
年末年始 12月29日～1月1日

入 館 料

	一 般	学 生
個 人	400円(200円)	150円(75円)
団 体	300円(150円)	100円(50円)
共通券	600円(300円)	200円(100円)

【共 通 券】 舞鶴引揚記念館・赤れんが博物館にご入館いただけます。

【割引制度】 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご呈示ください。入館料が半額（料金表の（）内の金額）になります。

会 場：舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室

開館時間：午前9時～午後5時まで
（最終入館は午後4時30分まで）

〒625-0133
京都府舞鶴市字平 1584 番地 引揚記念公園内
TEL：0773-68-0836
FAX：0773-68-0370
https://m-hikiage-museum.jp
舞 鶴 引 揚 記 念 館
MAIZURU REPATRIATION MEMORIAL MUSEUM